

CEFR-J レベル

A1.1

技能

Spoken Interaction

Can Do descriptor

なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。

⇒ なじみのある定型表現を使って、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることが即興でできる。

タスク：

内容：好きなキャラクターが近くの体育館にやってきてイベントを行う。情報にずれのあるカードを受け取り、お互いに情報を交換しあう。即興で行う会話であるが、15秒間カードを見るのは、情報の確認の時間とする。

形態：先生との面接形式とする。

手順

① 指示：「このカードを読んでください。読み終わったら顔を上げてください。」

② カード：

先生はあなたのクラスの留学生です。皆さんの好きなキャラクターが、近くの体育館にやってくることになりました。行きたいのですが、わからない情報があります。これから渡すカードを見て、お互いに質問して、情報を完成し、一緒にイベントに行けるようにしましょう。

この後に、考える時間が15秒あります。

カードを読み終わったら顔を上げてください。

③ カードAを渡す。カードBは教員の手元に置く。

④ 指示：「では、15秒間考えてください。」ストップウォッチで15秒測る。

⑤ 15秒後に、会話開始。ストップウォッチで1分半測る。

⑥ 生徒が黙ってしまった時には、直前に言ったのと同じ言葉をゆっくり繰り返したり、それを言い換えたりして発話を引き出そうとしてみる。それを1回試みて発話が出ないときには次に行く。

⑦ 理解を妨げるような誤った発話の時には、意味を確認する。それ以外の時には話を合わせて次に行く。

⑧ 話の途中で、1分半後に会話をストップする。そこまでの発話で評価する。

カードA(教師用)

カードB(生徒用)

ウサモンがやってくるよ。一緒に遊ぼう！

日にち: ( )

時間: 11:00 a.m. から 3:00 p.m.

場所: Green Light Gym

入場料: 500 円

人数制限: ( )人

ウサモンと一緒に  
( ) が  
できるよ！



ウサモンがやってくるよ。一緒に遊ぼう！

日にち: 10/10 (Sports Day)

時間: ( )

場所: ( )

入場料: ( )

人数制限: 50 人

ウサモンと一緒に  
記念撮影が  
できるよ！



(アウトプット) テキスト 1: この CEFR-J レベルで合格の会話

教員: Usamon is coming to our town.

生徒: Yes.

教員: Do you know when it's coming?

生徒: October 10. (1 個目 OK)

教員: How many people can join the event?

生徒: 50. (2 個目 OK)

教員: I see.

生徒: What time? (3 個目 OK)

教員: Oh. It will be from 11 to 3 o'clock.

生徒: Where? (4 個目 OK)

教員: At the Green Light Gym.

生徒: How much? (5 個目 OK)

教員: It's 500 yen. What can we do with Usamon?

生徒: Take picture. (6 個目 OK)

教員: Sounds fun! Let's go there together.

生徒: Yes!

教員: Thank you. This is the end of the task.

(6 つ言うところで 4 つ言えているため、評点 2)

(アウトプット) テキスト 2: 途中で沈黙など問題がある場合

教員: I hear Usamon is coming to our town.

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: Usamon is coming to our town. (ゆっくり繰り返す)

生徒: I see.

教員: When will Usamon come?

生徒: ten-ten. (言えたとカウントしない)

教員: Which month?

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: Which month? (ゆっくり繰り返す)

生徒: ... I don't know.

教員: How many people can go?

生徒: ... (10 秒沈黙)

教員: How many people can go? (ゆっくり繰り返す)

生徒: Fifty (people). ... (1 個目 OK)

教員: 「質問してください」と書かれたカードを上げる。

生徒: ... (10 秒沈黙。1 分 30 秒たってストップウォッチが鳴る)

教員: OK. Let's go there together. Thank you. This is the end of the task.

(6 つ言うところで 1 つしか言えていないため、評点 1)

開発段階

第 1 期 (作成) 第 1 期 (実施) 第 1 期 (分析)

第 2 期 (改訂) 第 2 期 (実施) **第 2 期 (分析)**

メモ

注意点:

- ・生徒がどこまで話せるかを知るために、教員は手助けをしすぎないようにする。

評価の目安:

- ・A1 なので、文章で質問ができなくても評点 2

例) Where?

I don't know the date. でも言えたと考える

- ・さらりと文章で質問できたら評点 3。エラーがあっても、苦勞しないで自然に聞けたら評点 3。

開発担当者: 小泉利恵